

## NO26

### 着弾観測壕

所在地は伊勢市東大淀町（伊勢市立北浜中学校西 徒歩1分）

※現在は、撤去され、見るできません。



伊勢市の北部、北浜中学校の西、100メートルほどのところにコンクリートの壁のような建造物があります。これは航空機が地上攻撃をテストするとき、その着弾を観測するための壕でした。

隣接する明野飛行場では旧陸軍の航空機の試験飛行が何度もおこなわれ、当時の新鋭機などもテストされたと聞きます。

そのような軍事施設があったためか、近くの豊浜地区でも米軍機による機銃掃射があり、柱や仏壇の裏に弾痕の残る民家が数年前まで残っていました。

「伊勢市にも戦争があった」ことを示す戦跡は、ほとんどが壊されたり、立て替えたりしてその姿を消しています。戦争が「歴史」となり、過去のものになることは、わたしたちにとってよいことなのかも知れません。

しかし、同じ過ちをくり返すことがないよう「記憶」から消してはいけないことだと思います。

20060515 掲載